

GA-K8N51GMF-9-RH

AMD ソケット 939 プロセッサマザーボード

ユーザーズマニュアル

改版 1001



- * 製品の WEEE マークは、この製品を他の家庭ゴミと共に廃棄することを禁じ、廃棄電気電子機器のリサイクルのための指定収集場所に引き渡す必要を示しています！！
- * WEEE マークは EU 加盟国のみに適用されます。

目次

第 1 章 ハードウェアのインストール	3
1-1 取り付け前に	3
1-2 特長の概略	4
1-3 CPU とファンヒートシンクの取り付け	6
1-3-1 CPU の取り付け	6
1-3-2 ファンヒートシンクの取り付け	7
1-4 メモリの取り付け	8
1-5 拡張カードのインストール	10
1-6 I/O 後部パネルの紹介	11
1-7 コネクタについて	12

第1章 ハードウェアのインストール

1-1 取り付け前に

コンピュータを用意する

マザーボードには、静電放電(ESD)により損傷を受ける、様々な精密電子回路および装置が搭載されていますので、取り付け前に、以下をよくお読みください。

1. コンピュータをオフにし、電源コードのプラグを外します。
2. マザーボードを取り扱う際は、金属部またはコネクタに触れないでください。
3. 電子部品(CPU、RAM)を取り扱う際は、静電防止用(ESD)ストラップを着用してください。
4. 電子部品を取り付ける前に、電子部品を静電防止パッドの上、または静電シールドコンテナ内に置いてください。
5. マザーボードから電源コネクタのプラグを抜く前に、電源が切断されていることを確認してください。

取り付け時のご注意

1. 取り付ける前に、マザーボードに貼布されているステッカーを剥がさないでください。これらのステッカーは、保証の確認に必要となります。
2. マザーボード、またはハードウェアを取り付ける前に、必ず、マニュアルをよくお読みください。
3. 製品を使用する前に、すべてのケーブルと電源コネクタが接続されていることを確認してください。
4. マザーボードへの損傷を防ぐため、ネジをマザーボード回路、またはその機器装置に接触させないでください。
5. マザーボードの上、またはコンピュータケースの中に、ねじ或いは金属部品を残さないようにしてください。
6. コンピュータを不安定な場所に置かないでください。
7. 取り付け中にコンピュータの電源を入れると、システムコンポーネントまたは人体への損傷に繋がる恐れがあります。
8. 取り付け手順や製品の使用に関する疑問がある場合は、公認のコンピュータ技師にご相談ください。

保証対象外

1. 天災地変、事故又はお客様の責任により生じた破損。
2. ユーザマニュアルに記載された注意事項に違反したことによる破損。
3. 不適切な取り付けによる破損。
4. 認定外コンポーネントの使用による破損。
5. 許容パラメータを超える使用による破損。
6. Gigabyte 製品以外の製品使用による破損。

1-2 特長の概略

CPU	<ul style="list-style-type: none"> ◆ AMD Sempron™ / Athlon™ 64 / Athlon™ 64 FX / Athlon™ 64 X2デュアルコアプロセッサ(K8)向けSocket 939 ◆ 3000+以上のコアクロックをサポート
フロントサイドバス (Front Side Bus)	◆ 2000MT/sシステムバス
チップセット	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ノースブリッジ: nVIDIA® GeForce 6100 ◆ サウスブリッジ: nVIDIA® nForce 430
LAN	◆ VITESSE 8201 phy (10/100/1000Mbit)
オーディオ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ オンボードRealtek ALC880 CODECチップ ◆ HD (High Definition)オーディオをサポート ◆ 2 / 4 / 6 / 8チャンネルオーディオをサポート ◆ SPDIF入/出力コネクタをサポート ◆ CD入力接続をサポート
IEEE1394	<ul style="list-style-type: none"> ◆ オンボードVIA VT6307チップ ◆ 2個のIEEE1394ポート
ストレージ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ nVIDIA® nForce 430 - 1 個の FDD コネクタで、1 台の FDD デバイスに接続可能 - UDMA 33/ATA 66/ATA 100/ATA 133 対応の 2 つの IDE コネクタ (IDE1、IDE2) で、4 台の IDE デバイスに接続可能 - 4 個の SATA 3Gb/s コネクタ(SATAII0, SATAII1, SATAII2, SATAII3)で、4 台の SATA 3Gb/s デバイスが接続可能 - シリアル ATA でのデータのストライピング(RAID 0)、ミラーリング(RAID 1)、ストライピング+ミラーリング(RAID 0 + 1)及び RAID 5 をサポート
O.S をサポート	◆ Microsoft Windows 2000/XP
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 4 DDR DIMMメモリスロット(最大4GBのメモリをサポート)^(注1) ◆ デュアルチャネルDDR 400/333/266/200 DIMMをサポート ◆ 2.5V DDR DIMMをサポート
拡張スロット	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 1個のPCIエクスプレスx 16スロット ◆ 1個のPCIエクスプレスx 1スロット ◆ 2個のPCISロット
内部コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 1個の24ピンATX電源コネクタ ◆ 1個の4ピンATX 12V電源コネクタ ◆ 1個のフロッピーコネクタ ◆ 2個のIDEコネクタ ◆ 4つのSATA 3Gb/sコネクタ ◆ 1個のCPUファンコネクタ ◆ 1個のシステムファンコネクタ ◆ 1個のフロントパネルコネクタ ◆ 1個のフロントオーディオコネクタ ◆ 1個のCD入力コネクタ ◆ 2個のUSB 2.0/1.1コネクタにより、ケーブル経由で4 USB 2.0/1.1ポート追加可能 ◆ 1個のCOMコネクタ(COMA) ◆ 1個のIEEE1394コネクタにより、ケーブル経由で1ポート追加可能 ◆ 1個のSPDIF入/出力コネクタ ◆ 1個のLEDコネクタ

リアパネル I/O	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 1個のPS/2キーボードポート ◆ 1個のPS/2マウスポート ◆ 1個の平行ポート ◆ 1個のVGAポート ◆ 4個のUSB 2.0/1.1ポート ◆ 1個のIEEE1394ポート ◆ 1個のRJ-45ポート ◆ 6個のオーディオジャック(ライン入力/ライン出力/MIC入力/サラウンドスピーカー出力(リアスピーカー出力)/センター/サブウーファースピーカー出力/サイドスピーカー出力)
I/O コントロール	◆ Winbond W83627 chip
ハードウェアモニタ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ システム電圧検出 ◆ CPU/システム温度検出 ◆ CPU/システムファン速度検出 ◆ CPU温度警告 ◆ CPU/システムファン故障警告 ◆ CPUスマートファン機能をサポート^(注2)
BIOS	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 4Mbit flash ROM ◆ ライセンス済みAWARD BIOSの使用
その他の機能	<ul style="list-style-type: none"> ◆ @BIOSをサポート ◆ ダウンロードセンターをサポート ◆ Q-Flashをサポート ◆ EasyTune (ハードウェアモニタ機能のみ)をサポート^(注3) ◆ Xpress Installをサポート ◆ Xpress Recovery2をサポート ◆ Xpress Rescueをサポート
バンドルされたソフトウェア	◆ Norton Internet Security (OEMバージョン)
フォームファクター	◆ Micro ATXフォームファクタ: 24.4cm x 24.4cm

(注 1) 標準PCアーキテクチャに基づき、一定量のメモリがシステム用途に確保されます。従って、実際のメモリサイズは規定量より少なくなります。

例えば、4 GB のメモリサイズは、システム起動時には 3.xx GB と表示されます。

(注 2) CPU の Smart FAN Control 機能に対応するかどうかは、装着したCPUに依存します。詳細な情報については、GIGABYTE の Web サイトの FAQ セクションを参照ください。

(注 3) EasyTune 機能はマザーボード毎に異なる場合があります。

1-3 CPU とファンヒートシンクの取り付け



注意

CPU を取り付ける前に、以下の手順に従ってください。

1. マザーボードが CPU をサポートすることを確認してください。
2. CPU の刻み目のある角に注目してください。CPU を間違った方向に取り付けると、適切に装着することが出来ません。装着できない場合は、CPU の挿入方向を変えてください。
3. CPU とファンヒートシンクの間にヒートシンクペーストを均等に塗布してください。
4. CPU のオーバーヒートおよび永久的損傷が生じないように、システムを使用する前に、ファンヒートシンクが CPU に適切に取り付けられていることを確認してください。
5. プロセッサ仕様に従い、CPU ホスト周波数を設定してください。周辺機器の標準規格に適合しないため、システムバス周波数をハードウェア仕様以上に設定しないことをお勧めします。仕様以上に周波数を設定する場合は、CPU、グラフィックスカード、メモリ、ハードドライブ等を含むハードウェア仕様に従って設定してください。

1-3-1 CPU の取り付け

プロセッサのピンが曲がっていないことをご確認ください。プロセッサの装着前に、図 1 にあるようにソケットレバーをロック解除位置に移動します。プロセッサを取り付ける前に(マザーボードの面に対して 90°)。図 2 のように、ピン 1 の位置はプロセッサ上の銅色の三角マークで指定され、これはソケットの三角マークに対応します。プロセッサをソケットに合わせ静かに置きます。プロセッサを無理にソケットに押し込まないでください。



図 1
レバーを 90 度角に配置します。



図 2
ソケット及びプロセッサ上のピン 1 の位置。
CPU ピンが対応する穴に完全に合うように、CPU を静かに配置します。CPU がソケットに配置されたら、一本の指を CPU 中央に添え、金属レバーを静かに押して、元の位置に戻します。



注意

CPU 取り付け時には細心の注意を払ってください。配置が正しくない場合、CPU を取り付けることは出来ません。力任せではなく、CPU 位置を変更してください。

1-3-2 ファンヒートシンクの取り付け

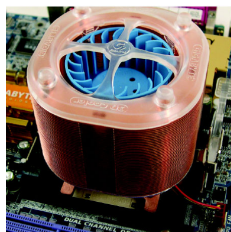


図 1
ファンヒートシンク取り付け前に、CPU 表面にヒートシンクペーストを均一に塗布します。すべてのファンヒートシンク部品を取り付けてください(取り付け方法の詳細はヒートシンクのマニュアルを参照してください)。

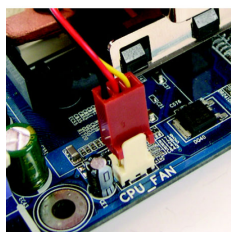


図 2
ファンヒートシンクの電源コネクタをマザーボード上の CPU_FAN コネクタに接続し、ヒートシンクを正常に動作させ、CPU の過熱を防止します。



ヒートシンクペーストの硬化により、ヒートシンクが CPU に付着する場合があります。付着を防止するには、ヒートシンクペーストの代わりにサーマルテープを使用し、熱を発散させるか、またはヒートシンクを取外す際は慎重に行ってください。

1-4 メモリの取り付け



注意

メモリモジュールを取り付ける前に、以下の手順に従ってください。

1. ご使用のメモリがマザーボードにサポートされているかどうかを確認してください。同様の容量、仕様、および銘柄のメモリをご使用することをお勧めします。
2. ハードウェアへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの取り付け/取り外し前に、コンピュータの電源を切ってください。
3. メモリモジュールは、きわめて簡単な挿入設計となっています。メモリモジュールは、一方向のみに取り付けことができます。モジュールを挿入できない場合は、方向を換えて挿入してください。

マザーボードは、DDR メモリモジュールをサポートし、BIOS は自動的にメモリ容量と仕様を検出します。メモリモジュールは、一方向のみに挿入するように設計されています。各スロットには異なる容量のメモリを使用できます。

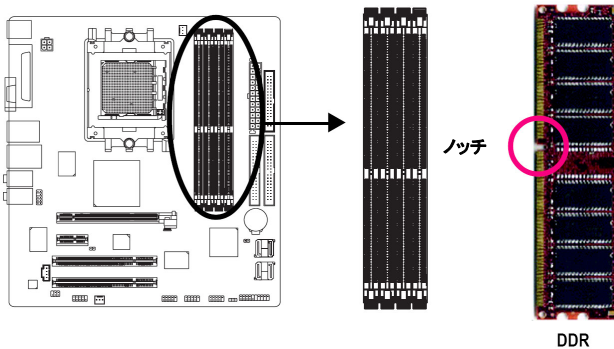


図 1

DIMM ソケットにはノッチがあり、DIMM メモリモジュールは一方向のみに挿入するようになっています。DIMM メモリモジュールを DIMM ソケットに垂直に挿入し、押し下げてください。



図 2

DIMM ソケットの両側にあるプラスチックのクリップを閉じて、DIMM モジュールを固定します。DIMM モジュールを取り外すにはインストールと逆の手順で行います。

デュアルチャンネルメモリ構成

GA-K8N51GMF-9-RH は、デュアルチャンネルテクノロジーをサポートします。デュアルチャンネルテクノロジーが実行されると、メモリバスのバンド幅は通常の 2 倍になります。

CPU 制限により、デュアルチャンネルテクノロジーを実行する場合は、以下のデュアルチャンネルメモリ構成のガイドラインに従ってください。

1. インストールされている DDR メモリモジュールが 1 つのみの場合は、デュアルチャンネルモードは使用することはできません。
2. 2 つのメモリモジュール(同一ブランド、サイズ、チップおよび速度のメモリモジュールの使用を推奨)でデュアルチャンネルモードを使用する場合は、それらを同色の DIMM ソケットにインストールする必要があります。
2. 4 つのメモリモジュールでデュアルチャンネルモードを使用する場合も、同一ブランド、サイズ、チップおよび速度のメモリモジュールの使用をお勧めします。

以下は、デュアルチャンネルメモリ構成のテーブルを示します：

(DS: 両面実装、SS: 片面実装、--: なし)

	DDR 1	DDR 2	DDR 3	DDR 4
2枚のメモリモジュール	DS/SS	DS/SS	--	--
	--	--	DS/SS	DS/SS
4枚のメモリモジュール	DS/SS	DS/SS	DS/SS	DS/SS



注

2 つのメモリモジュールでデュアルチャンネルモードを実行する場合は、それらを DDR1 および DDR2 DIMM ソケットにインストールすることをお勧めします。



注意

下記のメモリ設定は皆、システム起動不能になる可能性があります。

(DS: 両面実装、SS: 片面実装、--: なし)

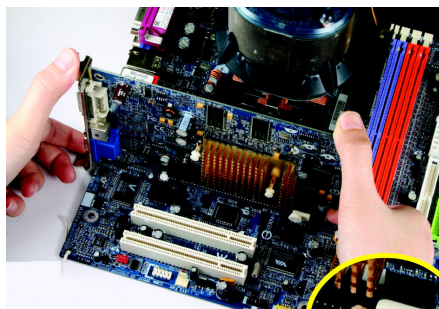
	DDR 1	DDR 2	DDR 3	DDR 4
1枚のメモリモジュール	--	DS/SS	--	--
	--	--	--	DS/SS
2枚のメモリモジュール	--	DS/SS	DS/SS	--
	DS/SS	--	--	DS/SS
	--	DS/SS	--	DS/SS
3枚のメモリモジュール	DS/SS	DS/SS	DS/SS	--
	--	DS/SS	DS/SS	DS/SS
	DS/SS	--	DS/SS	DS/SS
	DS/SS	DS/SS	--	DS/SS

1-5 拡張カードのインストール

以下の手順に従い、拡張カードを取り付けてください。

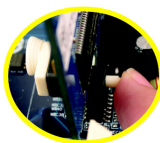
1. 拡張カードのインストールに先立ち、関連した指示説明をお読みください。
2. コンピュータからケースカバー、固定用ネジ、スロットブラケットを外します。
3. マザーボードの拡張スロットに拡張カードを確実に差しします。
4. カードの金属接点面がスロットに確実に収まったことを確認してください。
5. スロットブラケットのネジを戻して、拡張カードを固定します。
6. コンピュータのシャーシカバーを戻します。
7. コンピュータの電源をオンにします。必要であれば BIOS セットアップから拡張カード対象の BIOS 設定を行います。
8. オペレーティングシステムから関連のドライバをインストールします。

PCIエクスプレスx 16拡張カードを取り付ける。



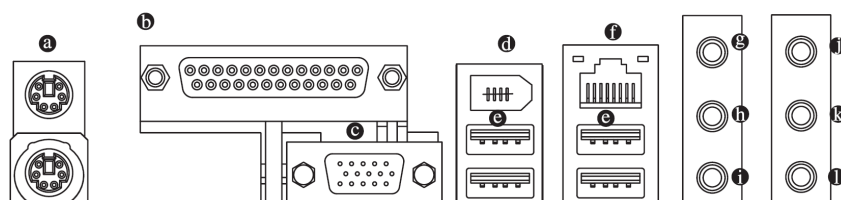
注意

PCI カードの装着/取り外し時には、エクスプレス x 16 スロット端の小さい白色の取り外しバーを注意深く引いてください。VGAカードをオンボードPCIエクスプレス x 16 スロットにそろえ、スロットに確実に押し込んでください。ご使用になる VGA カードが小さな白いバーによってロックされたことを確認してください。



VGA カードの装着や、装着済みカードの取り外し時には、左図に示すように、取り外しバーの後ろのラッチを押すことができます。

1-6 I/O 後部パネルの紹介



a PS/2 キーボードおよび PS/2 マウスコネクタ

PS/2 ポートキーボードとマウスを接続するには、マウスを上部ポート(緑色)に、キーボードを下ポート(紫色)に差し込んでください。

b パラレルポート

パラレルポートは、プリンタ、スキャナ、および他の周辺装置に接続することができます。

c VGA ポート

モニタを VGA ポートに接続します。

d IEEE 1394 ポート

電気電子学会で制定されたシリアルインターフェース規格で、高速転送、広帯域、およびホットプラグを特徴としています。

e USB ポート

USB コネクタに USB キーボード、マウス、スキャナー、zip、スピーカーなどを接続する前に、ご使用になるデバイスが標準の USB インタフェースを装備していることをご確認ください。またご使用の OS が USB コントローラをサポートしていることもご確認ください。ご使用の OS が USB コントローラをサポートしていない場合は、OS ベンダーに利用可能なパッチやドライバの更新についてお問い合わせください。詳細はご使用の OS やデバイスのベンダーにお問い合わせください。

f LAN ポート

インターネット接続は、Gigabit イーサネットであり、10/100/1000Mbps のデータ転送速度が提供されます。

g ライン入力

デフォルトのライン入力ジャックです。CD-ROM、Walkman などのデバイスをライン入力ジャックに接続できます。

h ライン出力(フロントスピーカー出力)

デフォルトのライン出力(フロントスピーカー出力)ジャックです。ステレオスピーカー、イヤホン、フロントサラウンドスピーカーをライン出力(フロントスピーカー出力)ジャックに接続できます。

i マイク入力

デフォルトのマイク入力ジャックです。マイクロフォンはマイク入力ジャックに接続します。

j サラウンドスピーカー出力(リアスピーカー出力)

デフォルトのサラウンドスピーカー出力(リアスピーカー出力)ジャックです。リアサラウンドスピーカーをサラウンドスピーカー出力(リアスピーカー出力)ジャックに接続できます。

⑨ センター/サブウーファースピーカー出力

デフォルトのセンター/サブウーファースピーカー出力ジャックです。センター/サブウーファースピーカーをセンター/サブウーファースピーカー出力ジャックに接続できます。

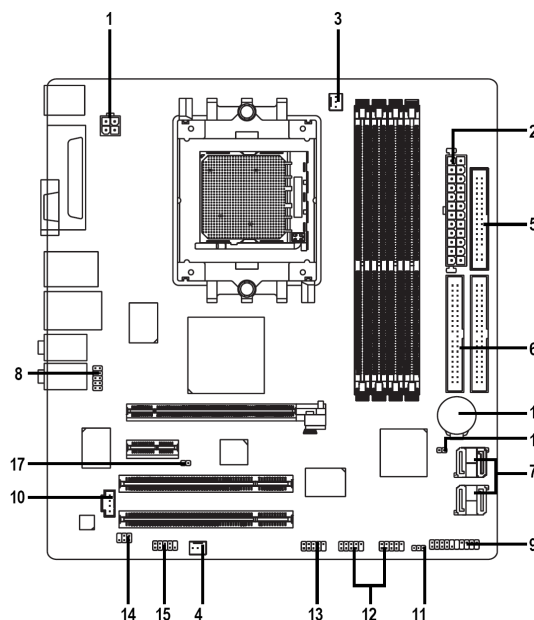
⑩ サイドスピーカー出力

デフォルトのサイドスピーカー出力ジャックです。サラウンドサイドスピーカーをサイドスピーカー出力ジャックに接続できます。



デフォルトのスピーカー設定に加え、⑨-⑩オーディオジャックにはオーディオソフトウェアを通じて異なる機能を再設定できます。但しマイクroフォンだけはデフォルトのマイク入力ジャック(⑪)に接続する必要があります。ソフトウェア設定の詳細については、2-/4-/6-/8-チャンネルオーディオセットアップのステップを参照ください。

1-7 コネクタについて



1) ATX_12V	10) CD_IN
2) ATX (Power Connector)	11) PWR_LED
3) CPU_FAN	12) F_USB1 / F_USB2
4) SYS_FAN	13) F1_1394
5) FDD	14) SPDIF_IO
6) IDE1 / IDE2	15) COMA
7) SATA0/1/2/3	16) CLR_CMOS
8) F_AUDIO	17) CI
9) F_PANEL	18) BATTERY

1/2) ATX_12V/ATX (電源コネクタ)

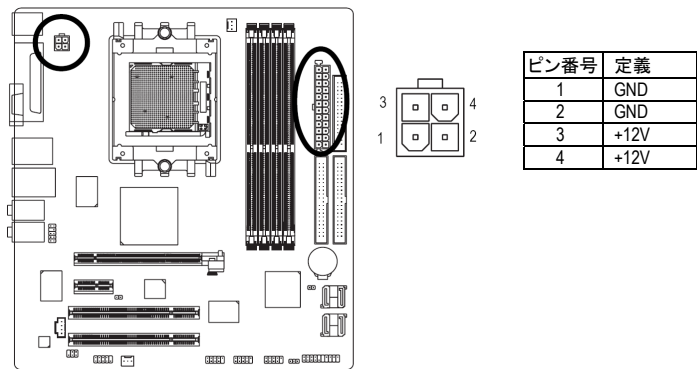
電源コネクタの使用により、安定した十分な電力をマザーボードのすべてのコンポーネントに供給することができます。電源コネクタを接続する前に、すべてのコンポーネントとデバイスが適切に取り付けられていることを確認してください。電源コネクタをマザーボードにしっかりと接続してください。

ATX_12V 電源コネクタは、主に CPU に電源を供給します。ATX_12V 電源コネクタが適切に接続されていない場合、システムは作動しません。

注意！

システムの電圧規格に適合するパワーサプライを使用してください。高電力消費(300W 以上)に耐え得る電源をご使用することをお勧めします。必要な電力を提供できないパワーサプライを使用される場合、結果として不安定なシステムまたは起動ができないシステムになります。

24 ピン ATX 電源を使用する場合、電源コネクタ上のカバーを取り外し電源コードを接続してください。それ以外の使用時はカバーをはずさないでください。



3/4) CPU_FAN / SYS_FAN (クーラーファン電源コネクタ)

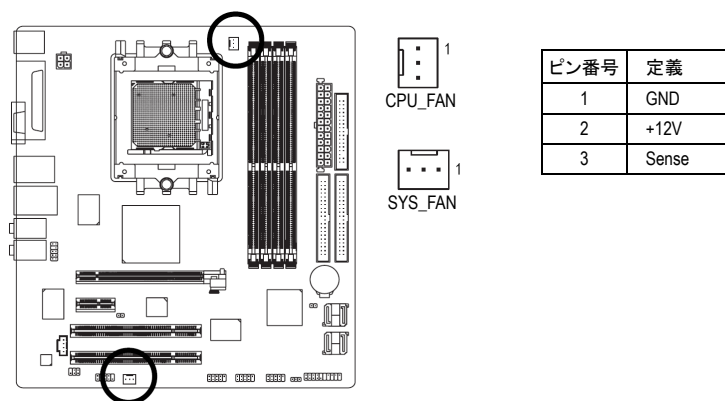
クーラーファン電源コネクタは、3 ピン電源コネクタ経由で+12V 電圧を供給し、接続が誰でも簡単にできるよう設計されています。

ほとんどのクーラーには、色分けされた電源コネクタワイヤが装備されています。赤色電源コネクタワイヤは、正極の接続を示し、+12V 電圧を必要とします。黒色コネクタワイヤは、アース線(GND)です。

システムのオーバーヒートや故障を防ぐため、必ず、クーラーに電源を接続してください。

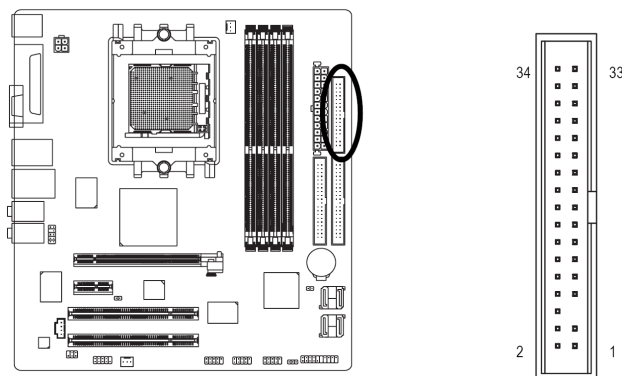
注意！

CPU のオーバーヒートや故障を防ぐため、必ず、CPU ファンに電源を接続してください。



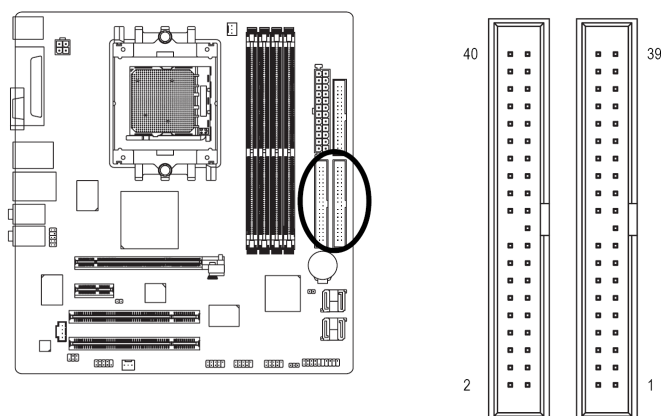
5) FDD (FDD コネクタ)

FDD コネクタは、FDD ケーブルの接続に使用し、もう一端は FDD ドライブに接続します。対応 FDD ドライブの種類は以下の通りです：360KB、720KB、1.2MB、1.44MB、および 2.88MB 赤色コネクタワイヤをピン 1 位置に接続してください。



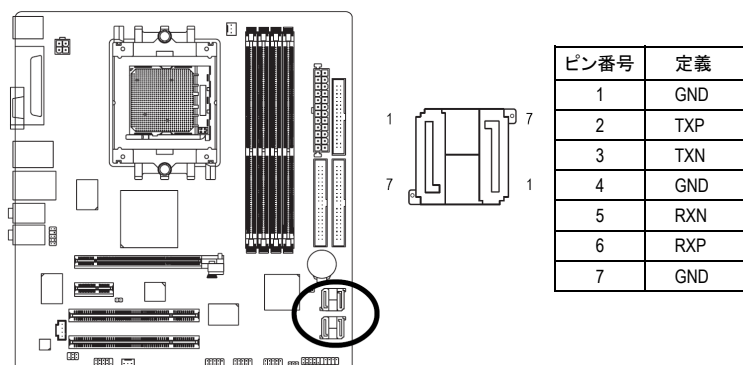
6) IDE1 / IDE2 (IDE コネクタ)

IDE デバイスは IDE コネクタによりコンピュータに接続します。1 つの IDE コネクタには 1 本の IDE ケーブルを接続でき、1 本の IDE ケーブルは 2 台の IDE デバイス(ハードドライブや光学式ドライブ)に接続できます。2 台の IDE デバイスを接続する場合は、一方の IDE デバイスのジャンパをマスターに、もう一方をスレーブに設定します(設定の情報は、IDE デバイスの指示を参照ください)。



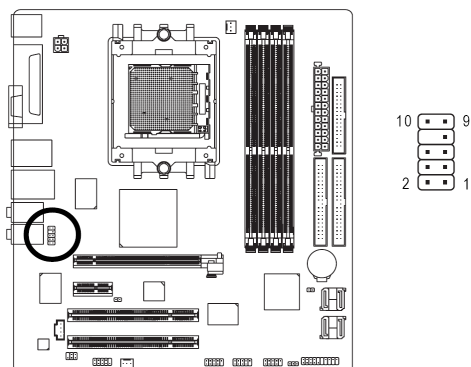
7) SATAII0/1/2/3 (SATA 3Gb/s コネクタ、nForce 430 によりコントロール)

SATA 3Gb/s は、最大 300MB/秒の転送速度を提供することができます。正しく動作させるため、SATA 3Gb/s の BIOS 設定を参照し、適切なドライバをインストールしてください。



8) F_AUDIO (フロントオーディオコネクタ)

このコネクタは HD (High Definition) または AC97 フロントパネルオーディオモジュールに対応しています。フロントオーディオ機能を使用したい場合、フロントオーディオモジュールをこのコネクタに接続してください。フロントパネルオーディオモジュールの接続時には、ピン配置をよく確認してください。モジュールとコネクタ間での誤った接続はオーディオデバイスの動作不能や故障の原因となります。オプションのフロントパネルオーディオモジュールについては、シャーシの製造業者にお問い合わせください。



HD オーディオ:

ピン番号	定義
1	MIC2_L
2	GND
3	MIC2_R
4	-ACZ_DET
5	Line2_R
6	FSENSE1
7	FAUDIO_JD
8	ピンなし
9	LINE2_L
10	FSENSE2

AC'97 オーディオ:

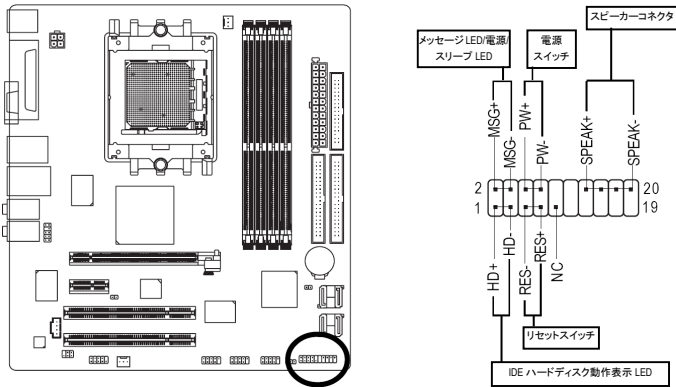
ピン番号	定義
1	MIC
2	GND
3	MIC 電源
4	NC
5	ライン出力(R)
6	NC
7	NC
8	ピンなし
9	ライン出力(L)
10	NC



デフォルトでは、オーディオドライバは HD オーディオ対応に設定されています。AC97 フロントオーディオモジュールをこのコネクタに接続するには、82 ページのソフトウェア設定を参照ください。

9) F_PANEL (フロントパネルジャンパ)

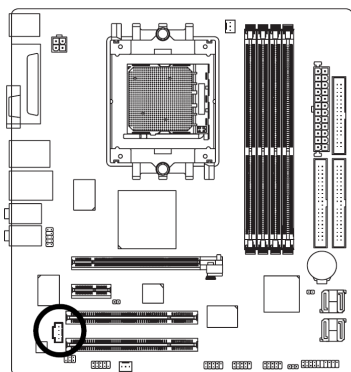
ご使用のケースのフロントパネルにある電源 LED、PC スピーカー、リセットスイッチおよび電源スイッチなどを以下のピン配列にしたがって、F_PANEL に接続します。



HD (IDE ハードディスク動作表示 LED)	ピン1: LED 正極(+) ピン 2: LED 負極(-)
SPEAK (スピーカーコネクタ)	ピン1: 電源 ピン2-ピン3: NC ピン 4: Data (-)
RES (リセットスイッチ)	オープン: 通常 ショート: ハードウェアシステムのリセット
PW (電源スイッチ)	オープン: 通常 ショート: 電源オン/オフ
MSG (メッセージ LED/電源/スリープ LED)	ピン1: LED 正極(+) ピン 2: LED 負極(-)
NC	NC

10) CD_IN (CD 入力コネクタ)

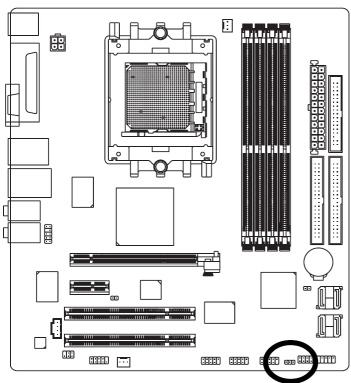
CD-ROM または DVD-ROM のオーディオ出力はこのコネクタに接続します。



ピン番号	定義
1	CD-L
2	GND
3	GND
4	CD-R

11) PWR_LED

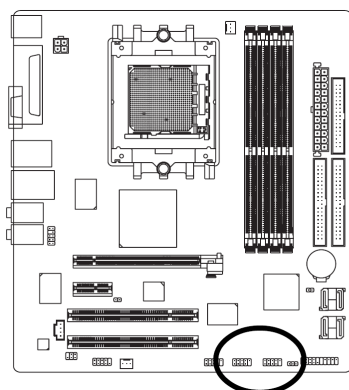
PWR_LED はシステム電源表示ランプに接続してシステムのオン/オフを表示します。システムがサスペンドモードになると点滅します。



ピン番号	定義
1	MPD+
2	MPD-
3	MPD-

12) F_USB1 / F_USB2 (フロント USB コネクタ)

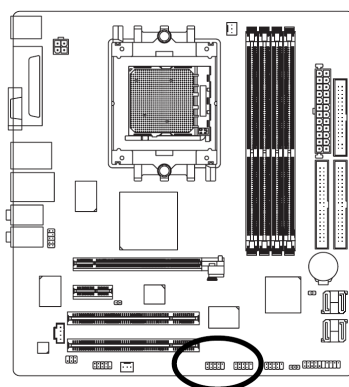
フロント USB コネクタの極性にご注意ください。フロント USB ケーブルの接続にはピン配列をご確認ください。ケーブルとコネクタ間での誤った接続はデバイスの動作不能や故障の原因となります。オプション装備のフロント USB ケーブルのお求めには地元の販売店にお問い合わせください。



ピン番号	定義
1	電源(5V)
2	電源(5V)
3	USB DX-
4	USB Dy-
5	USB DX+
6	USB Dy+
7	GND
8	GND
9	ピンなし
10	NC

13) F1_1394 (IEEE 1394 コネクタ)

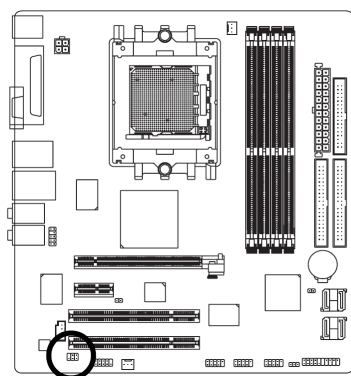
電気電子学会で制定されたシリアルインタフェース規格で、高速転送、広帯域、およびホットプラグを特徴としています。IEEE1394 コネクタの極性にご注意ください。IEEE1394 ケーブルの接続にはピン配列をご確認ください。ケーブルとコネクタ間での誤った接続はデバイスの動作不能や故障の原因となります。オプション装備の IEEE1394 ケーブルのお求めには販売店にお問い合わせください。



ピン番号	定義
1	TPA+
2	TPA-
3	GND
4	GND
5	TPB+
6	TPB-
7	ピンなし
8	電源(12V)
9	電源(12V)
10	GND

14) SPDIF_IO (SPDIF 入/出力)

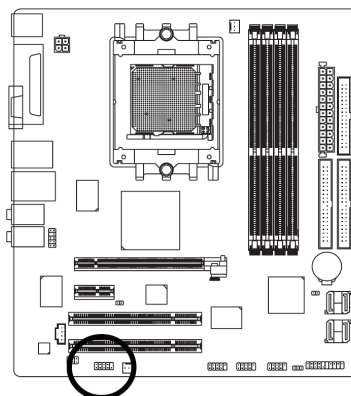
SPDIF 出力はデジタルオーディオを外部スピーカーに、AC3 圧縮データを外部ドルビーデジタルデコーダーに出力できます。この機能はお持ちのステレオ装置がデジタル入力機能を装備している場合のみ使用可能です。SPDIF 入力機能はご使用の装置がデジタル出力機能を装備している場合のみ使用可能です。SPDIF_IO コネクタの極性にご注意ください。SPDIF ケーブルの接続にはピン配列をご確認ください。ケーブルとコネクタ間での誤った接続はデバイスの動作不能や故障の原因となります。オプション装備の SPDIF ケーブルのお求めには地元の販売店にお問い合わせください。



ピン番号	定義
1	電源
2	ピンなし
3	SPDIF
4	SPDIF
5	GND
6	GND

15) COMA (COMA コネクタ)

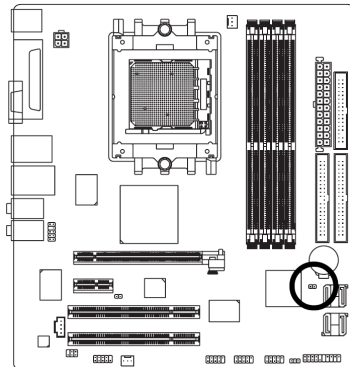
COMAコネクタの極性にご注意ください。COMAケーブルを接続する場合は、ピン配列を確認してください。オプションの COMA ケーブルの購入に関しては、最寄の販売店にお問合せください。



ピン番号	定義
1	NDCDA-
2	NSINA
3	NSOUTA
4	NOTRA-
5	GND
6	NDSRA-
7	NRTSA-
8	NCTSA-
9	NRIA-
10	ピンなし

16) CLR_CMOS (CMOS クリア)

このヘッダにより、CMOS データをクリアしてデフォルト値に復元できます。CMOS のクリアには一時的に 1-2 番ピンをショートさせます。デフォルトではこのヘッダの不適切な使用を防ぐために、ジャンパーはありません。

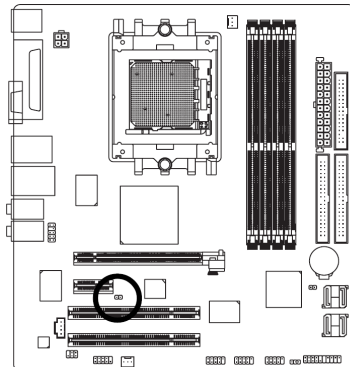


□ 1 オープン: 通常

■ 1 ショート: CMOS クリア

17) CI (ケース侵入、ケース開放)

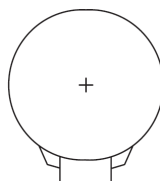
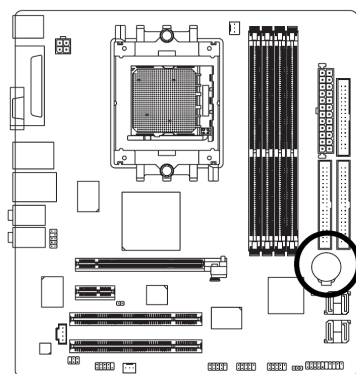
この 2 ピンコネクタにより、ケースカバーの開放が検知可能です。BIOS セットアップから“ケース開放”の状態をチェックできます。



1 □

ピン番号	定義
1	ピンなし
2	信号

18) BATTERY



- ❖ バッテリーの交換を間違えると爆発の危険があります。
- ❖ メーカー推奨と同一のタイプの物と交換してください。
- ❖ 使用済みバッテリーはメーカーの指示に従って廃棄してください。

CMOS 内容を消去するには...

1. コンピュータをオフにし、電源コードのプラグを外します。
2. 電池を静かに外し、10 分ほど放置します。
(または電池ホルダーのプラス・マイナスピンを金属片で 1 分間ほどショートさせます。)
3. バッテリーを入れなおします。
4. 電源コードのプラグを差し、コンピュータをオンにします。

日本語

[illegible]



Contact Us

- **Taiwan (Headquarters)**

GIGA-BYTE TECHNOLOGY CO., LTD.

Address: No.6, Bau Chiang Road, Hsin-Tien, Taipei 231, Taiwan

TEL: +886-2-8912-4888

FAX: +886-2-8912-4003

Tech. Support :

<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address (English): <http://www.gigabyte.com.tw>

WEB address (Chinese): <http://chinese.giga-byte.com>

- **U.S.A.**

G.B.T. INC.

TEL: +1-626-854-9338

FAX: +1-626-854-9339

Tech. Support :

<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address : <http://www.giga-byte.com>

- **Germany**

G.B.T. TECHNOLOGY TRADING GMBH

Tech. Support :

<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address : <http://www.gigabyte.de>

- **Japan**

NIPPON GIGA-BYTE CORPORATION

WEB address : <http://www.gigabyte.co.jp>

- **Singapore**

GIGA-BYTE SINGAPORE PTE. LTD.

Tech. Support :

<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address : <http://www.gigabyte.com.sg>

- **U.K.**

G.B.T. TECH. CO., LTD.

Tech. Support :

<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address : <http://uk.giga-byte.com>

- **The Netherlands**

GIGA-BYTE TECHNOLOGY B.V.

Tech. Support :

<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address : <http://www.giga-byte.nl>

- **China**

NINGBO G.B.T. TECH. TRADING CO., LTD.

Tech. Support :

<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address : <http://www.gigabyte.com.cn>

Shanghai

TEL: +86-021-63410999

FAX: +86-021-63410100

Beijing

TEL: +86-10-62102838

FAX: +86-10-62102848

Wuhan

TEL: +86-27-87851061

FAX: +86-27-87851330

GuangZhou

TEL: +86-20-87586074

FAX: +86-20-85517843

Chengdu

TEL: +86-28-85236930

FAX: +86-28-85256822

Xian

TEL: +86-29-85531943

FAX: +86-29-85539821

Shenyang

TEL: +86-24-23960918

FAX: +86-24-23960918-809

- **Australia**

GIGABYTE TECHNOLOGY PTY. LTD.

Tech. Support :

<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address : <http://www.giga-byte.com.au>

- **France**

GIGABYTE TECHNOLOGY FRANCE S.A.R.L.

Tech. Support :

<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address : <http://www.gigabyte.fr>

- **Russia**

Moscow Representative Office Of GIGA-BYTE Technology Co., Ltd.

Tech. Support :

<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address : <http://www.gigabyte.ru>

- **Poland**

Office of GIGA-BYTE TECHNOLOGY Co., Ltd. in POLAND

Tech. Support :

<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address : <http://www.gigabyte.pl>

- **Serbia & Montenegro**

Representative Office Of GIGA-BYTE Technology Co., Ltd. in

SERBIA & MONTENEGRO

Tech. Support :

<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address: <http://www.gigabyte.co.yu>

- **Czech Republic**

Representative Office Of GIGA-BYTE Technology Co., Ltd. in

CZECH REPUBLIC

Tech. Support :

<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address: <http://www.gigabyte.cz>

- **Romania**

Representative Office Of GIGA-BYTE Technology Co., Ltd. in

Romania

Tech. Support :

<http://tw.giga-byte.com/TechSupport/ServiceCenter.htm>

Non-Tech. Support(Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw/nontech.asp>

WEB address: <http://www.gigabyte.com.ro>